

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「人間としての尊厳を大切に、家庭的な雰囲気を入居者の個性を生かし、介護支援のある、日常生活の支援を行います」を理念として掲げている。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入口入ってすぐの掲示板に理念を掲示して、いつでも目につくようにして、理念実践に向けて日々取り組んでいる。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議に地域の方にも参加して頂き、掲示している理念を見て頂いている。ご家族には月1回配布している、当施設独自の月刊誌「Withウィズ」に毎月理念を掲載している。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出た時、出会った方には、必ず入居者の方と一緒に挨拶を行っているが、日常的な付き合いが出来ているとはいえない。	○ 定期的に地域の自治会長の方や民生員の方に訪問して頂き入居者の方と交流して頂く機会を設けて改善されつつある。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会・老人会等、行事のある時は、連絡をしている。散歩時、利用者の方と顔なじみの方がいる。挨拶は積極的に行っている。	○ 以前より定期的に交流の機会を設けている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	月1回のスタッフミーティングでこれからどんなことができるかを話し合っている。	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	全員が閲覧したかサインで把握出来るようになり、以前より改善され指摘を受けた箇所についてはミーティング等で話し合いより一層入居者の方が生活しやすい施設を目標にしている。	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	運営推進会議に民生員・婦人会・警察官の方々に参加して頂き、そこでの意見を職員にも伝え、サービス向上に活かしている。	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	年4回行われている西区グループホーム会へ必ず参加し、意見交換を行い、西区の担当者から情報収集している。	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	当グループホームでは必要な方には現在活用している。	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	市の集団指導に参加し、資料を持ち帰りその資料を基にカンファレンス等で話し合いを行っている。勉強会にはできる限り参加し、カンファレンス・ミーティング等で定期的に議題をあげて話し合いの機会を設けている。	今後も確認していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>固定のスタッフによる支援を行い、毎朝利用者の状態を送りし、利用者のケアを行っている。</p>		
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全職員が全てが充分とはいえず、段階に応じ育成することに取り組んでいる。</p>		
<p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>西区グループホーム会への参加により、西区のグループホームとの交流・意見交換や疑問を解消し、ホームでのサービス向上に取り組んでいる。</p>		
<p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>年4回ほどの懇親会を設けスタッフのストレス軽減を行っている。</p>		
<p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>他施設への見学やカンファレンスの時にスタッフ同士で介護の確認を行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>時間が許す限り、ご本人やご家族と直接会って、要望を伺ったり、又こちらからできるだけご自身の愛着のある物を用意して下さる様要望をお伝えしている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談を受け代表者を含め職員がご家族に安心されるよう話を伺う機会をつくる努力を行っている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた時、必要としている支援を見極めグループホームだけでなく他のサービスについても説明を行っている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>安心してサービスを利用する為、見学时等に他の入居者の方とお茶を飲まれたり、談話して頂いたりし、ご家族等とご相談しながら、ご本人が安心してサービスを利用できる努力を行っている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者に対し、常に教わり学ぶ姿勢をもちながらケアを行っている。またご本人の感情と一緒に分かち合う努力を行っている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 利用者と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	当施設では家族会を年2回開催し、できる限りご家族に参加を呼びかけどんな小さな事でもお話しして頂けるよう努力している、又当施設より利用者の方の日常生活を詳細にご説明させて頂いている。	○	利用者の方が高齢な為、ご家族においても老年期に入ってるご家族が多い為、来設して頂けるよう話し合い方法を模索する努力をしたい。
29 利用者との関係のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入所時、家族構成やご本人の生い立ち、ご家族との関係等、できる限り詳細に聴き取りを行い、ご家族の協力が必要な時は、必要性をご説明し、ご協力させて頂いている。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の方がご家族以外の名前を呼んだりした場合、ご家族の方へ連絡を取り、ご家族へご協力をお願いし、来設して頂くようお願いして関係が途切れないよう努力している。	○	
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の方の性格等、把握してお席を考慮し、できるだけ利用者同士の関係に干渉し過ぎない様努めている。		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	過去の退所者の方々は、入院による退所が大半で、退所後もお見舞いに行ったり、お電話で様子を伺ったり関係を大切にしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご本人の生活歴を把握しつつ、ご本人が求めるものを理解しながら、月1回のカンファレンスで話し合い、お一人お一人に合った生活を支援している。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居者の方の当時の生活に使用していた生活用品を絵にした回想法を利用して当時のお話を伺い、ご本人の生きてこられた歩みをその時の感情と共に理解することに努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>毎日の朝の申送り、看護師の報告・月一回のカンファレンス等により入居者一人一人を把握するよう努めている。</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>看護師・ケアマネジャー・スタッフにより月一回のカンファレンス等で話し合い、意見やアイデアを反映させて介護計画を作成し、ご面会時にご家族の意見やご意向を伺い介護計画の作成に反映させている。ご面会が困難なご家族には、お電話にてお話を伺う様努力している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月一回カンファレンスを基に当施設担当のケアマネジャーが3ヵ月又は必要に応じ見直しを行い、現状に即した計画を作成している。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>38</p> <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>24時間個別記録を記入し、毎朝送りを行い、実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
<p>39</p> <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>当施設でできる利用者・ご家族の要望に応じて支援を行っている。</p>		
<p>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</p>			
<p>40</p> <p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>民生員・婦人会・警察官の方々に、運営推進会議にも参加して頂き、協力し支援している。</p>		
<p>41</p> <p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>地域の連絡会等に参加し、他事業者との協働に努めている。</p>		
<p>42</p> <p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>入居者の方の認定調査の際、地域包括支援センターの方と接する時と運営推進会議参加時等、相談に応じて頂いている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当施設では、主治医があり、週一度の往診日があり、入居者の方と信頼を築いている。又往診日以外でも主治医とすぐ連絡がとれ、適切な医療を受けられるように支援している。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	当施設の主治医は、専門ではないが、認知症にも詳しく利用者の方にも多大な信頼を得ている。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当施設では常勤の看護師があり、利用者の方の健康管理を介護職のスタッフと協力しながら、支援している。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院が必要な利用者の方には、主治医と相談し、連携医療機関へ入院して頂き、過去の経験より施設との信頼関係は、築けている。早期退院は、主治医からも連携医療機関へ送りされている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時、当施設の「重度化や終末期に向けた方針」について説明し、ご家族の意向をふまえ、同意書を頂き利用者の方が安楽に終末期を迎えられるよう全員で方針を共有し支援している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	当施設では終末期を迎えられ、ご家族・主治医・看護師・スタッフ全員の支援により、安楽に終末期を迎えた利用者の方がおられる。今後も重度化や終末期に向けた支援に努めます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	<p>入居者の方が思いや希望を出せるように話し合っ ていきたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>2カ月に1度理容師の方に当施設に出張して頂い ている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒にできる入居者の方が少ないが、入居者の方と一緒に食事の準備を行っている。出来ない入居者の方も台所に来て頂き準備をしている所を見て五感を通して感じて頂いたりしている。食事の後片付けも出来る入居者の方に手伝って頂いている。		
55 利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	以前はお酒・たばこ等飲まれていましたが、嗜好が変わり今現在はやめている。おやつについては個人で管理された場合期限切れや事故を招く恐れがある為、スタッフが管理している。	○	入居者の方が望みがあれば、一人一人に応じた対応を支援したい。
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表に記録し、排泄パターンを把握して声掛けを行っている。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	お一人で入浴出来る方がいない為、見守り介助が必要な為時間帯を決めて入浴している。	○	入浴介助のスタッフを置き対応していきたい。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	眠れない入居者の方にはお茶を出したり、お話をしたりしている。昼食後状況に応じて、臥床して頂いたりしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各自できる範囲で掃除、食器洗い、洗濯物たたみ等をスタッフと共に行っている。大正琴を演奏したり、演奏に合わせて歌を皆で歌ったり、本の読み聞かせを行ったり、紙芝居や球技を取り入れ、気晴らしの支援を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理の可能な入居者の方がいない。所持することにより、身体への危険や事故に繋がる恐れがある。当施設が代行管理して、毎月ご家族に報告を行っている。</p>	○	<p>徒歩で買い物に行ける所がなく、お花見やお食事会等で外出の時に買い物を楽しんで頂けるように取り組んでいきたい。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天候の良い日や寒暖の差のない日には、外でお茶をしたり、1Fの花壇の花を見に出かけたり当ホーム裏の川沿いの散歩を楽しんで頂くよう支援している。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>お花見・お食事会・旅行は、毎年実施している。ご家族の方と共に昼食を外でされる入居者の方もいらっしゃるが個別に全員が外出する機会を持つ事が出来ていない。</p>	○	<p>ご家族の方と話し合いながら、個別に外出する機会を設け、支援していきたい。</p>
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>スタッフは入居者の方の意向を伺い、代筆・一部介助などの支援を行っている。</p>		
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>いつでも訪問して頂けるように出入口は開放している。ご家族の方にはお気軽に訪問して頂いている。入居者の方の子供様やお孫様・曾孫様も一緒に訪問して頂き、お話をされたり、お茶を飲まれたりゆったりすごされている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>毎月のカンファレンスの中で身体拘束についての介護の確認や話し合いの中で理解を深め、ケアに取り組んでいる。</p>		<p>今後も確認していく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	エレベーター出入口に感知器を取り付け、チャイムの音にスタッフが素早く対応するように指導し、外部からの来客・内部から一人での外出を把握している。		
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者の方の見守りはもちろん、帰宅願望のある方に気をつけて入居者のその日の担当者が安全に配慮しながら、様子を把握している。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬・入れ歯洗浄剤などは事務室にて保管し、洗剤・消毒液等は、浴室・脱衣所の鍵のかかる所に保管している。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	「ヒヤリハット」を設け事故防止に努めている。ヒヤリハットの記録をカンファレンスを利用し、事故防止に努めている。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急マニュアルは作成している。マニュアルを説明し、リビングの所定の所に貼っている。スタッフ全員に人工呼吸用携帯マスク配布し、各自緊急事態に備えている。	○	毎月のカンファレンスに対応方法の指導も行いたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害マニュアルは作成している。昼間は事務所・夜間は各フロアの夜勤者が管理している。年2回訓練を実施している。警報装置・スプリンクラー設置。近隣の出入のお米屋さん・薬局にも協力をお願いしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	リスク対応として、ご家族に説明をして、ご本人・ご家族の意向を優先し一人一人に合った対応策を話し合い、考えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常勤看護師により入居者の方の体調管理は、行っている。緊急時は、主治医とすぐに連絡が取れるようになっている。		
74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師による勉強会を行い、服薬法など理解している。薬情も常に閲覧できるように所定の位置に置いている。		
75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	医師・看護師の指導のもと、入居者の方一人一人に合った食事を用意させて頂いている。腹部マッサージ等看護師の指導で行い、食事・水分摂取量を把握している。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	当施設のビル内に歯科があり、異常がある時はすぐに受診して頂いている。完治後も3ヶ月に一度の検診日を設けて頂いている。毎食後の口腔ケアは、一人一人に応じている。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の介護記録の中に食事・水分の摂取量が記入でき、入居者の方の一日の様子が担当者にわかるようになっている為、担当者は即座に対応ができる支援を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のマニュアルがあり、実施している。消毒薬の会社より用途に合わせた消毒液の使用方法について説明にきて頂き、実行している。毎月のカンファレンスにて季節ごとの予防対応を話し合っている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食事前・調理前に手消毒を行い、ふきん・まな板は毎日消毒、食材は2日に1度買出しに行き使い切るようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物入口・エレベーターホール・エレベーターの中に大きく看板を取り付けている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアーの入口には季節のお花やスタッフと入居者の方で作った手作りのものを展示し、季節感を表している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには大きなソファを2セット設置している。廊下にも一休みできる様にソファを設置し、ゆっくりと過ごして頂けるようにしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご入居の際、ご自身の愛着のある生活用品を持ってきて頂きご自身の居室でご使用頂いている。</p>		
<p>84</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>温度計・湿度計を2箇所を設置し、毎日確認をしている。トイレ等気になる所には、消臭・芳香剤を置いている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>車椅子でトイレ・居室等へお一人で行き来できる様に空間を広くとり手すりを生かし、歩行訓練等も行い、一人一人の自立を支援している。</p>		
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>お一人お一人違ったお花と表札(ひらがなで苗字を表示)とのれんにより入居者の方が間違われないような工夫を行っている。トイレ等大きな文字で表示をし、わかる力を生かしている。</p>		
<p>87</p> <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている</p>	<p>気候の良い時期には、ベランダの手すりを利用して歩行練習を行ったりベランダから見える四季折々景色の変化を通して入居者の方に季節感を持って頂く環境作りを行っている。1F花壇には、季節の花やイチゴなど植えている為お水を与えたり・散歩がてら見に行ったりと楽しんでいる。</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

すべての入居者の方に対して全スタッフが愛情を持ち家庭的な雰囲気です温かく接している。